

◆調査内容

①体格、運動能力の8種目

(小・中学生共通)

握力	上体起こし
長座体前屈	反復横とび
20mシャトルラン	50m走
立ち幅とび	ボール投げ

▶体力の基本要素となる

「タイミングの良さ」「粘り強さ」
「素早さ」「力強さ」「柔軟性」
を測定します。

②アンケート調査

「運動好き」 「続けること」が 好結果に

平成21年度以来となる全国の小学5年生と
中学2年生全員を対象とした「体力・運動能力、
運動習慣に関する調査」が実施されました。

◆運動能力調査結果 (小・中学生男女 合計32種目)

- ➡全国平均より高いまたは同程度 13種目(40.6%)
- ➡全道平均と同程度または高いが、全国平均より低い 7種目(21.9%)
- ➡全道・全国平均より低い 12種目(37.5%)

体力・運動能力等の 傾向

■体格と肥満度に関する調査

◇身長・体重・座高の体格

小・中学女子は、小学の体重を除いて全て全道・全国平均を上回っています。

一方、中学男子では、体重を除いて全道・全国並みの数値となっていますが、小学男子は、全てが全道・全国平均を下回る結果となっています。



◇痩身・肥満度

小学女子と中学男子が全員正常分布に属していますが、小学男子と中学女子の一部に中等度・高度肥満が見られています。

■運動能力による体力合計点

小学男子は、下位層が多く全道・全国平均を下回っています。小学女子は、上位層の人数は多いですが、下位層も多く二極化現象が見られています。中学生では、上位層が多く、男子は4割強、女子は6割弱を占めており、最下位層には属していません。

◇種目別による傾向

小学生では、男女ともに「反復横とび」に優れ、女子は、「長座体前屈」や「ボール投げ」に良い結果が見られています。一方、男子は、「反復横とび」を除いた7種目が全道・全国平均

を下回る数値となっています。

中学生では、男女ともに「握力」「上体起こし」「ハンドボール投げ」が全道・全国平均を上回っています。男子は、「反復横とび」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」でも同様な結果が見られています。

男女ともに今後の課題となるのは、「柔軟性」が求められる「長座体前屈」で、全道・全国平均を下回る数値となっています。

運動習慣や生活習慣 等の傾向

■運動習慣

小学生の運動をするのが「好き」と回答した割合は、全道・全国平均を10ポイント以上上回り、「嫌い」と回答した児童はいません。

中学男子では、小学生と同様な傾向が見られていますが、女子では、「好き」「やや好き」に比べて、「やや苦手」「苦手」の数値が高くなっています。

体育の授業に関しては、小・中学生ともに「楽しい」と回答した人数が全道・全国平均に比べて高い数値となっています。

小・中学男女ともに少年団や部活動などに所属している子が多く、小学男女と中学男子の加入率は8割を超える高い数値となっています。一方、中学女子の少年団や部活動への加入率は8

子育て支援 センター通信

子育て支援センター
☎2-4162 (新館、杉山)



☞一時保育について

今年度の一時保育のお預かりは…

3月20日(木)まで

4月からの利用方法

利用申請書を子育て支援センターへ提出してください。

■提出期間

3月10日(日)～20日(木)

☞現在、登録され利用されている方も4月からご利用予定の場合は、**更新が必要**です。

☞申請書は、子育て支援センターにあります。

☞年度末休所について

▶ 3月の広場利用は…

3月26日(水)午前
「のびのび広場」まで

▶ 4月からの広場利用は…

4月4日(金)午前
「なかよし広場」より開始

☞ご利用されているみなさんには、ご迷惑をおかけしますがご了承ください。



割には達してはいませんが、全道・全国平均を10ポイントほど上回っています。
小・中学生の運動実施状況では、「ほとんど毎日」と回答している率が
高く、全道・全国平均を大幅に上回っています。

曜日ごとの実施については、小学生は月・日曜日、中学生は月・土曜日が中心となり、それぞれ全道・全国の運動日数の平均を超えています。

■生活習慣

生活面における「睡眠時間」は、小・中学校ともに概ね満たされ、「毎日、朝食を食べる」ことについても改善のあとが見られています。

しかしながら、「テレビなどの視聴時間が長い」ことについては、小学男子と中学男女に課題が見られています。

今後の取り組み

今回の調査を基にして、学校ごとの良さや課題を明らかにし、学校改善プランにおいて、授業改善や運動する機

会の一層の充実を図っていきます。

授業では、児童・生徒らが「できるようになる」という実感を持てるように指導の工夫を図ります。また、児童・生徒らが、体づくり、器械・陸上運動、水泳、ボール運動など、多くの種目が持つ「楽しさ」に触れられるような指導に努めます。

併せて、体力の基本要素である5つの要素をバランスよく取り入れるとともに、児童・生徒らが劣っている要素については、意図的・計画的に補強運動として取り入れていきます。

スポーツ少年団や部などに所属して運動に取り組む児童・生徒が多くいます。さらに意欲をもち継続した運動となるために、目標を立て成就感や満足感を味わい、自信に結びつくような取り組みを大切にします。

これらの取り組みは、学校と家庭とが連携して生活習慣の改善などを図ることが大切です。

また、「体力向上」を図るには学校・家庭が基盤となり、それを支える地域・行政の果たす役割も重要と考えられています。

各種団体や教育委員会等が行う教室や競技会などでは、体力や技術の向上だけでなく、精神面の鍛錬もなされ、一人ひとりの資質や能力の基礎を育てる土台が培われます。

今後とも、多くの児童・生徒らが参加し、スポーツのすそ野が広がることを望まれます。

※お問い合わせは、教育委員会総務・学校教育担当(☎213014)土肥まで